



with コロナ時代

こんなお客様にいま、どうアドバイスするか

マーケット状況の説明と対応策

加入の目的や保険料の振込方法を踏まえたりスク説明を行う

1 外貨建て保険を契約しているお客様

外 貨建て保険が広く販売されるようになって久しい。保険会社ではたくさんの外貨建て保険が開発され、現在では、様々な目的で外貨建て保険が販売されている。

昨今のコロナ禍は、世界的な景気の減速を伴い、それゆえ、「外貨建て保険が広く販売されると不安を感じるお客様もいる」と不安を感じるお客様もいる。

結論を先に述べてしまえば、コロナウイルスの問題があつたとして保険の先行きはどうなるのだろう」と不安を感じるお客様もいると思われる。

ここからは、具体的な保険商品を参考にしながら、お客様から契約している外貨建て保険について相談を受けた際、どのような話や

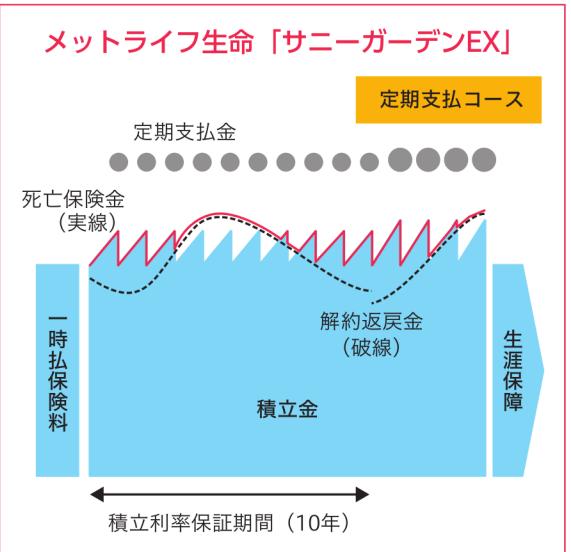
ても、契約を解約することなく、維持し続けることが一番良いと思われる。

(1)相続ニーズに対応する外貨建て保険商品を、2020年7月1日に解約することになると、(金利が下がったところでの解約となるので)市場価格調整(MVA)の機能で、解約返戻金は12%ほど増加することになる。

命の「サニーガーデンEX」である。この保険は、外貨建て一時払終身保険である。横浜銀行、広島

アドバイスをすればいいか考えてみよう。
商品は、対応するニーズ別に挙げることにする。

高い利率は当面維持される



銀行、静岡銀行など多くの地銀や、みずほ信託銀行などが募集代理店になっている。

この保険の売りは、「毎年、積立利率に応じた定期支払金を受け取りながら、自分が亡くなつたときには死亡保険金を遺族に残すことができる」という点である。

ところで、この保険の積立利率は、契約日から10年間は固定されている。2018年3月後半に契約された場合、積立利率は2.9%であった。もし保険金額が1万

ドルであれば、毎年、290ドルの定期支払金を受け取れるわけである。

2020年7月1日現在、この保険の積立利率は0・95%である。95ドルの定期支払金では、満足できる人はかなり減っているだろう。

外貨建て保険の資産はその通貨の債券で運用することが多い。したがって、積立利率は債券、特に、国債の利回りに連動している。

そして米国債の利回りはこの期間、急激に下落している。その理由は、コロナウイルスによる金融緩和である。

外貨建て保険のリスクについては、為替リスクは広く認識されているが、金利のリスクも含まれていることを認識しておいたほうがよい。

さて、既存のこの保険の保険契約者が、

日付	積立利率	米国債利回り(10年)
2018年3月16日	2.9%	2.85%
2020年7月1日	0.95%	0.69%

「サニーガーデンEX」の積立利率と米国債利回り

この保険を解約するべきかと尋ねられたら、できるだけ契約を継続するべきと答えるのがよいだろう。その理由は、次のとおりである。

(1)契約時の積立利率は10年間変わらない。

当面、維持さ

(2)老後資産ニーズに対応する外貨建て保険商品

老後資産ニーズに対応する保険で取り上げたいのは、明治安田生

命の「つみたてドル建て終身」である。

この保険の特徴は、保険料払込期間中は、予定利率が固定されていて、ほぼ積立のみの機能になっていることである。それゆえ、コロナウイルスによる金利低下の影響は受けにくい仕組みである。

平準払の保険であるために市場価格調整(MVA)は導入され

ていないが、解約控除率は最大20%に設定されている。つまり、契約

なお、右の図表を参照して、2018年3月16日に契約した保険で新たに契約をすすめるのは気が引けるというのが本音だろう。さて、既存のこの保険の保険契約者が、既存のこの保険の保険契約者である。その理由は、コロナウイルスによる金利低下の影響は受けにくい仕組みである。

この保険の特徴は、保険料払込期間中は、予定利率が固定されていて、ほぼ積立のみの機能になつて

ていることである。それゆえ、コロナウイルスによる金利低下の影

響は受けにくい仕組みである。

平準払の保険であるために市場

価格調整(MVA)は導入され

ていないが、解約控除率は最大20%

- 1 杉山 明 バームスコーポレーション取締役社長
2・3 久保逸郎 FPオフィス クライアントサイド代表
4~6 前川 貢 前川FP事務所アドバンス代表